

## 休会クラブを解消し、4クラブを復活

沖縄県 中城村老人クラブ連合会 **クラブ数** 15 **会員数** 1,028名

### ● 三大大行事への積極的な参加者集め

中城村老人クラブ連合会では、会員増強に向けて主に以下のような取り組みを行いました。

まずは、休会クラブの解消です。行政有力者や自治会長、地域有力者を活用し、老人会の意義を訴えて理解を得る活動を展開しました。その結果、平成25年には11だったクラブは、「100万人会員増強運動」の5年間で15クラブに増加しました。

また、三大大行事（老人クラブ大会、老人文化作品展覧会、大忘年会）への積極的な参加呼びかけを実施しました。これらは老連にとって楽しい行事であるということを訴えた結果、三大大行事で延べ1,200名の参加を得ることができました。

合わせて、スポーツ大会（ゲートボール大会、グラウンド・ゴルフ大会、輪投げ大会、ボウリング大会）への積極的な参加呼びかけも行いました。これらの行事は健康増進・親睦交流の場であるとともに、憩いの場であることを発信した結果、スポーツ大会への年間延べ参加選手は1,700名となりました。

### ● 合同研修会で課題や解決策を共有

当老連では、村から介護予防事業を受託する形で、ヨガ教室や大正琴教室、民謡教室、フラダンス教室、手芸教室、カラオケ教室の6教室を開催しており、教室に参加した老人クラブ未加入者が



敬老会



グラウンド・ゴルフ大会

新規会員になる例も多数あります。教室参加者による口コミ作戦を実施することで、会員増強を図っています。

また、会員増強に向け、単位クラブ正副会長・会計および老連各部長による合同研修会も実施しています。合同研修会では、活動状況や魅力ある会づくり、会員増強策、後継者づくり、悩みなどをテーマにパネルディスカッションを行いました。課題や解決策・成功例などの共有を図った合同研修会は、50名の参加者にとって大きな活力となりました。

これらの活動に加え、当老連では村慰霊塔周辺の奉仕作業、村内3小学校低学年との交流会、高齢者施設への友愛訪問、独居老人宅への友愛訪問などさまざまな活動を通し、老人会の活動を積極的にアピールしています。

### ● 会員一人ひとりのたゆまぬ努力の成果

こうした取り組みにより、前述のように単位クラブは4クラブ増加し、11クラブから15クラブになりました。

また、「100万人会員増強運動」スタート前の平成25年には635名であった会員数は、会員増強運動1年目には12名増、2年目には93名増、3年目には158名増、4年目には87名増、5年目には43名増で、合計393名の増加となりました。

これらの成果は、会員一人ひとりと単位クラブ会長のたゆまぬ努力によるものです。

ここが  
ポイント  
!

●行政有力者や自治会長、地域有力者を活用し、休会クラブを解消

●合同研修会により単位クラブ正副会長や老連各部長の意識向上を図る